

齋藤茂吉全集

第三十五卷

第二十七回配本（全三十六卷）

齋藤茂吉全集 第三十五卷

定價 二千圓

昭和五十年三月十三日 發行

著 者 齋 藤 茂 吉

發行者 岩 波 雄 二 郎

發行所 東京都千代田區一ツ橋二丁目五番五號
株式會社 岩 波 書 店

印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・亂丁本はお取替いたします

目次

昭和十六年	一
昭和十七年	五
昭和十八年	二六
昭和十九年	一九三
昭和二十年	二六五
昭和二十一年	四〇
昭和二十二年	六三
後記	七三

昭和十六年

四二七二 〔一月四日 滋賀縣堅田本堅田 北村庸夫様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓恭賀新年 滋賀版拜受、やはりアララギの哥よく、大兄の作上等也萬々

四二七三 〔一月九日 會津若松市榮町二〇 遠藤昌喜様 青山自宅より（はがき）〕

恭賀新年 今般御地名産干柿御惠贈にあづかり御芳情幾重にも忝く厚く御禮申上げ候、東京昨夜雪ふること一寸餘、觀兵式御とり止めと相成申候、御禮迄 頓首

四二七四 〔一月十六日 名古屋市西區上名古屋町道上五七 渡邊周一様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓益々御清通大賀奉り候、林泉寺につき御教示下され御禮申上候前年いたゞき候、御札をばうつかり長野縣と錯り記憶いたしゝためと存上候、その節御禮狀さし上げ候は、今年何月ごろに候ひしか、御一報願上候、頓首 右御禮まで

四二七五 〔一月十六日 山形縣上ノ山湯町山城屋 高橋重男殿 青山自宅より（はがき）〕

○母上より梅羊羹到來御芳情感謝奉り候、カラスミ新鮮のもの一本おくり候ゆゑ四郎兵衛にさし上げ願上候○上京して少し保養しなさい、小生の方は何もかまはぬから、麻布の方にゆるゆるとまつて見物せられよ○父上

によろしく母上にも皆々○小生は當分上ノ山に行けぬ。

四二七六 〔一月十七日 熊本市大江町九品寺六三二 加藤七三教授 青山自宅より（はがき）〕

拜啓今般御地名産羊羹御惠與にあづかり大謝奉り候、東京も御菓子少く相成り、事のほか難有く御禮申上候、併し、外國人等は、この状態をよろこぶ傾向有之につき、毫も困つた顔せぬことが大切のこと、存じ居り候、御禮迄 頓首

四二七七 〔一月二十日 中野區宮園通一ノ二六 橋本德壽大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓先般は御高吟「海峽」いたゞき感謝いたします、今日御ハガキいたゞき、それから青垣拜見、拙著に對する御紹介文拜讀非常に同情に満ちたるものにて、千樞高門の御文章だといふ氣がいたしました。正直申せば小生毎月の雜誌目をとほせず、本年は是非萬事目を通さうとおもつてゐて日一日とのびてゐたのでした。頓首

四二七八 〔一月二十日 世田ヶ谷區代田町一ノ六三二番地 柴生田稔様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓○御歌集の編輯は取りいそぎ願上候、一月末に書店に御原稿わたすぐらゐがよろしく御座候萬々以上

四二七九 〔一月二十七日 熊本市大江町九品寺六三二 加藤七三教授 青山自宅より（はがき）〕

拜啓益々御清適大賀奉り候今般九州療養所アラギ故人哥集御惠送にあづかり萬々の御骨折大謝奉り候、かくの如くにして御病人等諸君も永遠の生命として遺るべく御禮申候 頓首

四二八〇 〔一月二十八日 下谷區上野櫻木町四五 尾形鶴吉大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓今般御多忙中筆寫の御願御聽可たまはり忝く存上と^{〔原〕}ころ、御惠送下さるとの事にて佐藤君迄御つかはし下され候こと夢かとはかり感謝奉り候次第に御座候あまり勿體なくていかゞせむと存じ候ひしが今回は頂戴する方御よろしからむと佐藤君も申され候につき、忝く拜受いたすこととし又々筆寫も御願奉りたく御願申上候
頓首

四二八一 二月二日 廣島縣双三郡布野村 中村シヅ子様 青山自宅より（はがき）

拜啓、只今御地上等梨いたゞき何とも忝し、棟方の方も御無沙汰がちにて相すみ不申、先生がたも風引きのため手術のびのびのよし、困り居り候土屋君も風引き寐申候、小生は輕くて何でもなく、御大切に願上候萬々
頓首

四二八二 二月四日 杉並區中通町四二 藤森朋夫大人 青山自宅より（はがき）

拜啓、拙著人丸雜纂篇の御紹介文非常に御同情に充ち忝く御禮申上候御文章もこれまでになき程感讀仕り候、
○短哥研究の座談會のも大によろしく御座候拜眉萬々 頓首

四二八三 二月六日 四谷區左門町九九 河野多麻様 青山自宅より（はがき）

拜啓、御手紙忝く拜受仕り候○今月（二月）は教授、仙臺より御上京は大體何日ごろと相成られ候や、御一報のほど御願申上候、又御上京の節は一寸御一報願上候 頓首 ○頂戴の御菓子まことに上等にてありがたし

四二八四 二月六日 杉浦翠子宛（はがき）

拜啓、左千夫先生のは崇拜家なれば百圓かも知候○大阪の柳屋に御交渉御試み願候 頓首

四二八五 〔二月八日 下谷區上野櫻木町四五 尾形鶴吉大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓益々御清適大賀奉り候、御論文御掲載の書之友只今拜受、御心にかけてまひ深く感謝奉り候、長大御研究の一部にて慶賀、驚嘆の至に存上奉候、何卒御自愛の上、よろしく御願申候○先般は筆寫の件につき多大の御厚情に接し、頂戴までして何とも忝し萬々 頓首

四二八六 〔二月八日 名古屋市昭和區松月町六ノ十九 堀内通孝様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓、○故人評傳よろしくたのむ○御歌集も是非たのむ○御歌本人は御勉強願上候、どうしても氣がらくに相成り候ゆゑ御ふん發願上候

四二八七 〔二月十日 四谷區左門町九九 河野多麻様 青山自宅より〕

拜啓、仙臺の先生の御かへりをまち廿四日ごろ（月曜）、鎌倉の岡本さん、吹田さん、岩波の小林さん一タタ餐さしあげむと存じ候間廿四日御とりおき願上候萬々 頓首 廿一日に御かへりならばそれでもよろしく候も、大體廿四日として御願おき候○御哥、よろしく御座候妄批加申候 10/11 齋藤 河野奥様

四二八八 〔二月十三日 熊本市大江町九品寺六三二 加藤七三教授 青山自宅より（はがき）〕

拜啓○御地特等オレンヂ澤山御惠送にあづかり御芳情忝く御禮申上候○學會には出席出來ず残念いたし候、どうも暇もあるやうにて無之、よき機會を逸し候事多く残念に候、○御作哥御精進にてよろこばしく存奉候 頓首

四二八九 二月十八日 廣島縣双三郡布野 中村シヅ子様平安 青山自宅より

拜啓御在京中は御粗末仕り病院にもろくに參上せず失敬千萬いたし申候○今般は御心づくしのタンゼン並に上等布圍御めぐみにあづかり一躍して大名の感じに御座候小生は書物は少々買ひ候もかういふものは所持せず、今迄は氣にせざりしも一兩年前より冬は身にこたへるやうに相成り、頂戴品はまことに有難く御禮申上候○高木先生よりの御手紙同封いたし候、御ついでの節高木先生に何か御名産少々御贈り願上候○千樫門人の橋本徳壽君御邪まにまゐるかも知、よろしく願 齋藤 中村奥さま

四二九〇 二月二十日 千葉縣君津郡富岡村 地曳專治様 青山自宅より (はがき)

拜啓山鳩と露の臺正に拜受御心にかけさせられ御芳情幾重にも大謝奉り候、今年は雨が少くて心配して居り候ところ今日は終日雨にて大に心うるほひ申候、奥様何卒御大切に遊ばされたく失禮乍らハガキにて御禮申上候 頓首

四二九一 二月二十一日 四谷區左門町九九 河野興一様 青山自宅より (はがき)

拜啓御無事御上京大賀申上候廿四日午後五時半、末はつ迄奥様御同道御願申上げ候實は岡本大人の御上京の御あいさつもせず居り延び延びと相成候ゆゑ一寸御願申上げ候次第に御座候萬々 頓首

四二九二 二月二十一日 廣島市舟入川口町 白木豐様 青山自宅より (はがき 印刷)

寒中御見舞申上候小生儀今年は丈夫に暮し居候間乍憚御安心被下度候尙舊臘中「柿本人麿雜纂篇」を發刊致しお蔭を以て全五卷終了仕候間御喜び下さるやう御願申上候 頓首 東京市赤坂區青山南町五ノ八一 青山腦病院

内 齋藤茂吉

四二九三

〔二月二十二日 板橋區下石神井二ノ一二三二 上代晴三博士侍史 青山自宅より（はがき 速達）〕

拜啓御來書拜見、實は國民教育よりも手紙もらひ候ことに候ひしが、少年向の歌はどういふ具合にすべきかと考へ、その儘になりゐたるところに御座候。よつて今回は間に合ひかね候べきにより、次の號にでも、舊作中より適當のものの選ぶ（原）こゝし、左様御願いたし申候。少年向の歌は小生のあるかどうかもおぼつかなく候ゆゑ、これも御一考願上候、萬々 頓首

四二九四

〔二月二十二日 丸の内丸ビル八階中央公論社婦人公論 山本英吉様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓日本婦人の哥出來居り候ゆゑ火曜の午后一時—二時ごろ一寸御光來御願申上候、その節中央公論の分も御わたし仕るべし拜眉萬々 頓首

四二九五

〔二月二十三日 杉並區神明町六四 吹田順助大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓明廿四日は御校の教授會にて御迷惑と存じ候が、少しお早くきりあげ下されなるべく五時半ごろ迄神田末はつ（岩波か、齋藤かどちらでもよろしく候と御仰せ願上候）迄御光來願候 頓首

四二九六

〔二月二十六日 四谷區左門町九九 河野與一大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓、御風の工合いかゞに御座候哉どうぞ御自愛願上候先晩は残念いたし、特に奥さまは粗野なる男性のあひだにあられ、あとで失敬せずと心配いたし候、迂生もアルコルの虚勢にかられ失禮千萬いたし候いづれ萬々 頓首 奥さまよろしく御傳言願上候

四二九七 〔二月二十八日 杉並區神明町六四 吹田順助教授 青山自宅より（はがき）〕

拜啓先般は御多忙中御光來下され久しぶりにて愉快に存上奉り候、○若きニイチエ是非拜借仕りたく、御願申上候、岡本大人の別本に有之、これも極めて有益に御座候○人丸、少しよこれ（箱）候も今日岩波より送らせ候間御一瞥のほど御願申上候 頓首

四二九八 〔二月二十八日 大森區田園調布三ノ六六九 石田徳太郎大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓御芳書拜受三月七日には御伴出來さうです。食料は小生は何も要りません。宿屋ので充分です。七日までにアララギの選哥をすませて御伴したいとおもつてゐます、もし火曜の正午ごろもう一度打合せが出來ると幸福です。

四二九九 〔二月（日不詳） 佐藤佐太郎宛〕

拜啓、岡山嚴氏の宿所、八雲からでも御たづねの上御投稿願上候○昨夜の小生の筆蹟、もし金^ながムダになるのであれば、あのまゝでもよろしきが、なるべくは寫眞版にいたし、その件八雲に御はなし願^{費用}ひ上候 茂吉 佐藤大人

四三〇〇 〔三月四日 京都市右京區花園町妙心寺境内靈雲院内 高柳得寶殿（はがき）〕

○「み佛を」の方よろしかるべし「蓮の」「蓮」いづれにても好き、也べし小生は「の」無きを好む○「今日の曇りに」よし但しアララギには二首とも採らず、他の哥採り候 齋藤茂吉

四三〇一 〔三月十日 大森區田園調布三ノ六六九 石田徳太郎大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓今度の旅には一方ならぬ御世話様に相成申上げ、あつく御禮申上候御つかれの御事と存上候御自愛願上候十日の朝

四三〇二 〔三月十一日 澁谷區幡ヶ谷笹塚町一〇二六 河野愼吾大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓益々御清適大賀奉り候、いよいよ御高著御出版に相成り御めでたく祝奉り候小生にも一本御惠送にあづかり御芳情まことに忝く御禮申上げ候、昔日のこと湧然として想起いたし候、取あへず拜受御禮迄〇きのふは留守中御光來たまはり忝く又大に失禮仕り候、頓首

四三〇三 〔三月十三日 京都市上京區紫竹西南町八〇 大庭耀様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓大兄の御歌はこゝ二年ばかりたいへん好いとおもひます。アララギの紙儉約のため、三首か四首に限りありますが、大兄のはもつと取れます。〇毎月取るのはいへん結構です、〇大兄が悶煩云々といふのはどういふことでせうか、小生にも不明で申上げかねます、頓首

四三〇四 〔三月十三日 杉並區中通町四二 藤森朋夫大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓〇御哥五ツ取り申上候〇籠りゐませるはやはり籠りいませるの方直接なるべし、〇水戸にて御便利なら小生も秋ごろもう一度御願いたしたし

四三〇五 〔三月十五日 大森區田園調布三ノ六六九 石田徳太郎大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓金五圓正に拜受、然るにあればいたゞいてはいけないものに御座候小生の方よりさしあげねばならぬ事に御座候御いでの方に左様にいたしたし○足袋も大に忝し○御哥御勉強のほど願上候 頓首

四三〇六 〔三月十六日 四谷區左門町九九 河野多麻様平安 青山自宅より〕

拜啓先般はめでたき魚いたゞき何とも忝し頂戴ばかりいたし恐入り居り候御哥今度のは言葉も順直に、思想的にておもしろく御座候仙臺の先生はその後御風いかゞに候ひしや心配いたし居り候、結城哀草果も風よりこじらせひどいめにあひし趣に候、何卒御自愛願上候老生も兎に角無事に御座候萬々 頓首 齋藤茂吉 河野奥様侍史

四三〇七 〔三月十七日 京都市上京紫竹西南町八〇 大庭耀様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓、御地にての相談は小國一人にて澤山に候べし、但し小國のは禪宗的悟りのヒネクレは問題外に候、その他の歌は小國のも確かにて大によろしく御座候。○大兄の歌は、丁寧なれどもどうも輪廓的〔原〕で困つたが、二年ほど前より中味に入り、大によろしく相成申候。やはり只今のとほりにて結構に御座候。特に東京の諸君を目あてにせずともよろしく候、○小生の生活ぎりぎりにて到底手紙にて意見申上げること叶はず、御諒承願 頓首

四三〇八 〔三月十七日 杉並區中通町四二 藤森朋夫大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓萬葉年報拜受、御骨折のほど尊敬奉り候、いづれ拜眉萬々御禮申上べく候 頓首

四三〇九 〔三月二十八日 麹町區丸の内ビルディング五八八區、中央公論社 山本英吉様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓並根につき萬々大謝奉り候、○日本婦人の哥の中、若しも皇后の御場合に「薨御」と書いてあらば、「崩御」の誤につき御校正のとき御訂正のほど御願申上候○いづれ拜眉萬々 頓首

四三一〇

〔推定三月三十日〕 烏根縣、濱田、庄下部隊工村隊六班 波多野虎雄様 青山自宅より（齋藤茂太・齋藤百子・齋藤宗吉・齋藤昌子との寄書）

拜啓、御奮戰感謝、當病院も無事、萬事が統制で、儉約して張切つてゐるから、御安心ねがふ。茂太も今年は検査です。百子五年生、昌子六年生、宗吉中學二年です。「鴨山後考」の部、送らんとしたが、後日楽しみにしてゐます。今春は雨が降り、水道も大丈夫です、この分だと、今年は豊年でせう。一昨日は陛下が飛行學校に行幸、「修武岡」と御命名になりました。黒木君は慶應の生理で研究することになりました。（茂吉）

四三一

〔四月一日〕 京都市右京區花園妙心寺町靈雲院内 高柳得寶殿（はがき）

夕かげの、みさゝぎの、萬燈の、かすかなる右四ツ取つた、爾后、いそがしく返事やれぬ

四三一二

〔四月三日〕 京都市上京區紫竹西南町八〇 大庭耀様 青山自宅より（はがき）

拜啓人丸人形忝しとも忝し 敬具

四三一一

〔四月三日〕 山口茂吉宛（使持参）

拜啓○アララギ選歌△届けます○選歌の順序このごろ少々亂れ粗末になつたやうだ、昨年一月あたりごろの順序に大體表を作りください、それによつて、古い人から並べてください。○左千夫歌論は小生手元にありますから、届けます明日でも相澤君よんで御談合し、組見本御願します。○結城哀草果が四日上京しますから五日夕の會には丁度よいとおもひます、土曜に柴生田君忙しければ御いでにならなくとも何とかいたします、萬

々 茂吉 山日君

四三一四 〔四月十二日 大阪府豊中市新免六八三 岡田眞大人 青山自宅より（はがき）〕

拜啓「石見志」いたゞき御珍藏のもの何とも忝くいつも乍らの御厚情大謝のほか無之候、いづれ拜眉萬々御禮申上べく候へども取あへず御禮申上候 頓首

四三一五 〔四月十八日 葛飾區小菅町四二四 小西邦太郎様 青山自宅より（繪はがき）〕

拜啓春暖に向ひ候ところ御新婚御榮轉重ねゝの御幸めでたく慶賀申あげ候、御上京ゆゑそのうち御めにかゝりうることを存じ上げ候、奥様にもよろしく御願○小生は火曜日ならば午後三時ごろ迄は殆ど必ず在宅に御座候萬々 頓首

四三一六 〔四月十九日 福岡市中庄町七七 平尾健一様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓、御新婚御學位重ねゝの御幸幾久しく慶賀申上げ奉り候、御招ぎ下されこれも光榮至極感謝奉り候、頓首

四三一七 〔四月二十一日 大阪府北河内郡住道町 北川条吉様 青山自宅より（はがき）〕

拜啓先般、御依頼の紙に一首かき候につき書留便にて御送申上候○小生都合よくは五月の大阪哥會に出席仕るべく候が、若しその節迄、ウイスキー（サントリー（或はその他のよし）十二年のものでよし）舶來ならばなほよし、御さがし御求めおき下されたく願上候、代價はその節支拂申べくにつき御立替願上候 頓首

四三一八 〔四月二十二日 小石川區高田老松町五一 石井庄司教授 青山自宅より（はがき）〕

拜啓先日は街頭にてお目にかゝり、あわたくし失禮仕り候足立博士との論議切抜御送り下され御芳情忝く御禮申上候實は未だ博士の駁論は讀み不申、しかしそのうち小閑をえて一讀仕るべく候、御井は實地踏査、乃至掘發調査が必要ゆゑ、只今の小生には不向に候へども、斷念は仕らず候 頓首

四三一九 〔四月二十三日 世田谷區松原町二ノ六六三 武田祐吉博士侍史 青山自宅より〕

謹啓その後御無音に打過ぎ失禮申上候、アララギに毎月御執筆たまはり忝く御禮申上候只今御高著頂戴仕りいづもの御厚情大謝のほか無之候永く書架に愛藏御恩頼かうむり申上奉るべく候亂筆御免 頓首 齋藤茂吉拜武田祐吉博士侍史

四三二〇 〔四月二十六日 東京赤坂區青山南町五ノ九〇 青木義作様 佐渡相川旅舎より（繪はがき）〕

拜啓佐渡の旅もなかなかに御座候留守中よろしく御願申候 頓首 佐渡相川旅舎にて 齋藤茂吉 26/W よる
四三二一 〔四月二十六日 東京澁谷區穩田一ノ一青山アバト六號館 佐藤佐太郎様 消印新潟・相川（繪はがき）〕

拜啓廿四日新潟一泊廿五日朝船にて佐渡の兩津著、それよりバスにて相川に着申候、萬事おもふに不任 敬具 齋藤茂吉 26/W よる

四三二二 〔四月二十六日 東京赤坂區青山北町六ノ三六 山口茂吉様 相川旅舎より（繪はがき）〕

拜啓御見おくり大謝奉候新潟ではあの旅館満員にてことわはれもう一つのも満員でことわはれ、やうやつと室

長といふのに一泊、佐渡は遊覧バスもバスガールのおけさも無くなり、變化して居り、見物豫定どほりに出来
不申、萬々 相川旅舎にて 齋藤茂吉 26/M よる

四三二三 〔四月二十七日 東京四谷區左門町九九 河野與一様同奥様 消印新潟・相川（繪はがき）〕

拜啓佐渡は遊覧バスといふもの廢止（今年より）バスガールなくオケサ歌ふ少女もゐず候、萬事寂寞に候拜眉
萬々 頓首 齋藤茂吉 廿七日早朝

四三二四 〔四月二十七日 東京神田區一ツ橋通、岩波書店 小林勇様 佐渡相川より（繪はがき）〕

拜啓佐渡相川より御健康いはひ上げ候、佐渡丸船上ではヘドの行列の中に忍耐いたし到頭ヘドせずに上陸いた
し申候、佐渡相川にて 廿七日早朝 齋藤茂吉

四三二五 〔四月二十八日 山形縣上ノ山町湯町山城屋 高橋四郎兵衛殿（繪はがき）〕

拜啓、只今越後の彌彦に居り神社參拜いたし申候、皆々によろしく 頓首 齋藤茂吉 四月廿八日より

四三二六 〔五月四日 東京板橋區練馬南町二ノ三八三八 和辻哲郎様御奥様 消印山形・上ノ山
（繪はがき 結城哀草果との寄書）〕

御無沙汰に打過ぎ申上候偶然郷里にまゐり、當地より御健康祝あげ申上候
藏王山は殆ど眞白、その前山の龍山あたりに残雪あり氣分一新いたし申候 齋藤茂吉

四三二七 〔五月四日 東京四谷區左門町九九 河野與一様〃奥様 消印山形・上ノ山（繪はがき
高橋四郎兵衛・高橋重男との寄書）〕

御健康祝上ます、へとへとに相成りて 齋藤茂吉